

1. 授業の概要(ねらい)

テーマは「ポスト・コロナにおける『今どきコトバ事情』増補改訂版をつくる」。
前期は400字日記をもとに「社会的距離のなかの日常」を考察した。後期は、コロナで何が変わったか(変わらなかったか)の考察を深める。『今どきコトバ事情』は55個の見出し語を取り上げて2000年代の変化について社会的に解説した本である。2020年前後のコロナはその本の内容(解説文)に改訂を迫る出来事である。MELIC所蔵資料や新聞記事や論文データベースなどを使いながら、事例や情報、資料を追加して、解説文を増補する。
この作業はグループ単位でおこなう。
最終的には、各自が自分で解説文の増補改訂版を提案する(期末レポート課題)。

2. 授業の到達目標

- ・データベースを利用して新聞記事を探し、見出し語に関連づけながら紹介する。
- ・図書や雑誌、専門辞典などから、見出し語に関連する記述を探してくる。
- ・これらの作業をグループで協力しながらおこない、成果を発表できる。
- ・以上の作業をふまえて「今どきコトバ」解説文の増補改訂版として、レポート作成する。

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点 20%
- ・グループ活動 30%
- ・期末レポート 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

井上俊・永井良和編著 今どきコトバ事情—現代社会学単語帳 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

- ・授業時間外にグループのメンバーと連絡を取り合ったり、作業を分担したりする。

6. その他履修上の注意事項

- ・受講希望者は第2回までに必ず出席し、第3回にはテキストを持参すること。進行の都合上、2回連続で無断欠席した場合は受講を認めないので注意すること。
- ・第4回(班作り)に無断欠席した場合はグループに所属できないことがある。
- ・第2回以降の欠席が5回を超えた場合、期末レポートを受理しないので注意すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、前期の復習
- 【第2回】 テキストの構成、資料の使い方
- 【第3回】 新聞記事データベースの使い方(情報端末が使える教室など)
- 【第4回】 班作り、関係構築、小課題の打ち合わせ
- 【第5回】 班単位で小課題に取り組む(MELICグループ学習室など)
- 【第6回】 増補改訂したい「今どきコトバ」の選定
- 【第7回】 発表準備(1)(MELICグループ学習室など)
- 【第8回】 発表準備(2)(MELICグループ学習室など)
- 【第9回】 発表準備(3)(MELIC情報学習室など)プレゼン資料の完成
- 【第10回】 全体発表(1)
- 【第11回】 全体発表(2)
- 【第12回】 相互評価、期末レポートについて
- 【第13回】 期末レポートの進捗
- 【第14回】 期末レポートの完成、提出
- 【第15回】 振り返り、期末レポートの返却